

評価項目

1. 実施計画について

実施前から実施後を通じてのスケジュール(内容、担当者、開始日、終了日)が具体性をもって示しているか。

2. ハイブリッドセミナーの経験があるか。

①顧客からの依頼に基づく撮影配信(ライブ配信・オンデマンド配信)の実績があるか。具体的には、過去2年間でセミナー等を24回以上配信した実績があること(うち、3回以上の同時通訳配信実績及び200人を超える規模のセミナー・講演会等の配信実績があることが望ましい)。

②Microsoft Teams 等を利用したウェビナーの経験があり、資料共有、スポットライトの設定・切り替え、講師・パネリスト・聴衆の画面切り替えの経験を有すること。

3. 担当者は撮影・配信にかかる豊富な治験と専門性を有しているか。

①全体統括・調整:

セミナーやセミナーなどの映像配信を行うためのプランニング経験を十分に有し、本業務に関わる撮影、音響、配信等に関わる知識を豊富に備えていること。

②配信業務(ソフトウェア面):

テスト配信及び本番の配信を行うために必要なソフトウェアやシステム等の設定・運用に関わる知識を十分に備え、設定・運用するためのスキル及び経験を十分に有すること。

③配信業務(ハードウェア面):

テスト配信及び本番の配信を行うために必要な撮影機器、音響機器、映像機器等のハードウェアの設定・運用に関わる知識を十分に備え、設定・運用するためのスキル及び経験を十分に有すること。

※上記業務にあたる専属の人員を2人以上配置し、作業ミスが発生しないようダブルチェック等の点検が可能な状態にすること。

※撮影・配信業務に於いては人員過不足等によりセミナーやセミナーの運営業務に支障をきたさないよう配慮すること。

4. 安定的に配信できる機材・資材・ソフトウェア等を有しているか。

基本装備として、1セミナーあたり以下を揃えること。

- ・配信用エンコーダー 一式
- ・配信用(シームレス)スイッチャー式

- ・撮影用カメラ(業務用)
- ・三脚
- ・ケーブル類 一式
- ・配信用パソコン
- ・配信にかかるソフトウェア 一式
- ・確認用パソコン
- ・オーディオミキサー・音響マイクなど 一式
- ・映像用分配器
- ・音源用分配器
- ・バックアップ用の WiFi(ポケット WiFi 等)
- ・その他、撮影・配信に必要な機材・資材 一式

5. 実施における人員配置、サポート体制は整っているか。

- ①リアル会場での撮影、配信
- ②当協会との連絡体制

6. 動画の撮影・配信業務において、情報セキュリティ上求められる要件を不足無く満たしているか。

7. 障害発生時のトラブル対応について

配信停止等のトラブルが発生した場合の対応が具体的に示されているか。その時点での問題点及び影響度を直ちに協会へ連絡し、迅速に復旧作業を行えるか。

8. 事業を実施する上で適切な財政基盤を有するとともに、支出に係る証拠書類等の整理、管理体制の構築等の一般的な経理処理能力を有しているか。

9. 全省庁統一規格(令和4年度、5年度、6年度)を有しており他団体(官公庁)の導入実績を有しているか。

10. 事業を実施する上で、経費見積もりが妥当なものであるか。